

注3

大学番号：国078

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

大分大学大学院 工学研究科 工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 大分大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部企画課企画係
職名・氏名	企画係長・岡嶋 ^{オカシマ} あゆみ
電話番号	097-554-7787
（夜間）	097-554-7787
F A X	097-554-7413
e-mail	kikaku@oita-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学研究科

<工学専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

<工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	30
2. 授業科目の概要	34
3. 施設・設備の整備状況、経費	38
4. 既設大学等の状況	39
5. 教員組織の状況	41
6. 留意事項等に対する履行状況等	53
7. その他全般的事項	54

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 大分大学

(2) 大学名 大分大学

(3) 大学の位置

〒870-1192
大分県大分市大字旦野原700番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(キタノ セイゴウ) 北野正剛 (平成23年10月)		
研究科長	(トヨダ マサヒロ) 豊田昌宏 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 工学専攻(博士前期課程) 修士(工学)	工学関係	2年	135人	270人	基礎となる学部等 理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成28年度	平成29年度	超過率		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	135 (-) [-]	135 (-) [-]	1.10倍		
志願者数	202 (1) [2]	- (-) [-]	182 (-) [4]	- (-) [-]	
受験者数	200 (1) [2]	- (-) [-]	175 (-) [4]	- (-) [-]	
合格者数	179 (1) [1]	- (-) [-]	154 (-) [2]	- (-) [-]	
B 入学者数	161 (1) [1]	- (-) [-]	139 (-) [2]	- (-) [-]	
入学定員超過率 B/A	1.19		1.02		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	161 [1] (-)	- [-] (-)	139 [2] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		161 [1] (-)	- [-] (-)	
計	161 [1] (-)		300 [3] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	161 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
平成29年度 入学者	139 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	300 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
融合型横断科目群	先端工学特別講義	1 前	2			36	30				教員の採用、退職に伴う変更 (29) 前年度報告時の誤り (29) 教員の採用、退職、職位変更に伴う変更 (28) 教員の採用、退職に伴う変更 (29) 前年度報告時の誤り (29) 教員の採用、退職、職位変更に伴う変更 (28) 教員の採用、退職に伴う変更 (29) 前年度報告時の誤り (29) 兼 3 教員の採用、退職、職位変更に伴う変更 (28) 教員の採用、退職に伴う変更 (29) 前年度報告時の誤り (29) 兼 3 教員の採用、退職、職位変更に伴う変更 (28)
		1 後	2			37	26				
	科学技術イノベーション特別講義	1 後	2			36	29				
		2 前	2			36	30				
	プロジェクトゼミ	2 前	2			37	26				
		2 後	2			36	22				
	プロジェクト研究	2 前	2			35	25				
		2 後	2			35	26				
特別分野横断科目群	機械エネルギー工学特別講義	1 後		2		7	7			教員の退職及び採用に伴う変更 (29) 職位変更 (28) 兼 2 教員の退職及び採用に伴う変更 (29) 教員の退職、職位変更に伴う変更 (28) カリキュラム見直しによる担当教員の変更 (28) 教員の採用に伴う変更 (29) 教員の退職及び採用に伴う変更 (29) 前年度報告時の誤り (29) 教員の採用に伴う変更 (28) 教員の退職に伴う変更 (29) 職位変更 (28)	
	電気電子工学特別講義	1 後		2		8	6				
	知能情報システム工学特別講義	1 後		2		8	2	2			
	応用化学特別講義	1 後		2		6	4				
	福祉環境建築学特別講義	1 後		2		5	3				
		1 後		2		4	3				
	福祉環境メカトロニクス特別講義	1 後		2		5	4				
	分野基礎科目群	材料力学特論第一	1 前		2		1				
材料力学特論第二		1 後		2		1					
熱工学特論第一		1 前		2		1					
熱工学特論第二		1 後		2			1				
伝熱学特論		1 後		2		1					
流体工学特論		1 前		2		1					
流体機械特論		1 前		2			1				
振動工学特論		1 前		2			1				
機械力学特論第一		1 前		2		1					
機械力学特論第二		1 後		2		1					
流体力学特論		1 後		2		1					
機械設計学特論		1 後		2			1				
熱エネルギー解析工学特論		1 前		2			1				
熱流体エネルギー解析工学特論		1 後		2			1				
粘性流体工学特論		1 前		2		1					
粘性流体工学特論演習		1 後		2		1					
弾性力学特論		1 前		2		1					
計算固体力学特論		1 後		2		1					
電磁流体工学特論第一		1 前		2		1					
電磁流体工学特論第二		1 後		2		1					
非線形システム特論第一	1 前		2			1					
非線形システム特論第二	1 後		2			1					
電磁気計測工学特論	1 前		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野 基礎科目群	電気工学特論第一	1 前		2		1						
	電気工学特論第二	1 後		2		1						
	制御システム特論	1 後		2			1					
	通信工学特論	1 後		2		1						
	音響工学特論	1 前		2		1						
	電気エネルギー工学特論	1 前		2							兼 1	
	電気機器工学特論	1 前		2		1						
	電力工学特論第一	1 後		2			1					
	電力工学特論第二	1 後		2		1						
	信号処理工学特論	1 後		2			1					
	電子物性特論第一	1 前		2		1						
	電子物性特論第二	1 後		2		1						
	電気力学特論	1 前		2			1					
	電子回路特論第一	1 前		2		1					兼 1	教員の退職に伴う変更 (29)
	電子回路特論第二	1 後		2		1					兼 1	教員の退職に伴う変更 (29)
	電子機器特論	2 前		2			1					
	情報伝送工学特論第一	1 前		2		1						
	情報伝送工学特論第二	1 後		2		1						
	電磁波工学特論	1 前		2			1	1				職位変更 (28)
	応用電子工学特論	2 後		2			1	1				職位変更 (28)
電気電子工学演習第一	1 後		2		8	6					教員の退職に伴う担当教員変更 (29)	
電気電子工学演習第二	2 前		2		8	5					職位変更 (28)	
知能 情報システム工学分野	情報数理特論第一	1 前		2			1					隔年開講のため (29)
	情報数理特論第二	1 後		2				1			兼 1	教員の退職に伴う配当年度の変更 (28)
	情報数理特論第三	2 前		2				1				
	数理工学特論第一	1 前		2		1						隔年開講のため (29)
	数理工学特論第二	1 後		2		1						職位変更、教員の職位変更に伴う配当年度の変更 (28)
	生体システム特論	2 前		2			1					隔年開講のため (29)
	情報処理特論第一	1 前		2			1					職位変更、教員の職位変更に伴う配当年度の変更 (28)
	情報処理特論第二	1 後		2		1						
	情報システム特論第一	1 前		2							兼 1	
	情報システム特論第二	1 後		2		1						
	情報システム特論第三	2 前		2							兼 1	カリキュラムの充実のため科目を追加 (28)
	計算機システム特論第一	1 前		2		1						
	計算機システム特論第二	1 後		2			1					
	計算機システム特論第三	2 前		2		1						教員の退職に伴う担当教員変更 (29)
	システムプログラミング特論第一	1 前		2			1				兼 1	教員の退職に伴う担当教員変更 (29)
	システムプログラミング特論第二	1 後		2			1					
	知能システム特論第一	1 前		2		1						
	知能システム特論第二	1 後		2				1				
	知能システム特論第三	2 前		2				1				
	知識工学特論第一	1 前		2		1						
知識工学特論第二	1 後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
分野基礎科目群	知能情報システム工学分野	情報工学演習第一	1	前			8	2					教員の退職及び採用に伴う変更 (29)	
		情報工学演習第二	1	後	2		6	4			兼 3	教員の退職、職位変更に伴う変更 (28)		
	システム工学演習第一	システム工学演習第一	2	前			8	2	2		兼 4	カリキュラム見直しによる担当教員の変更 (28)		
		システム工学演習第二	2	後	2		6	4			兼 3	教員の退職、職位変更に伴う変更 (28)		
	情報システム特別実習 I A	情報システム特別実習 I A	1	前	1		7	2	2		兼 4	カリキュラム見直しによる担当教員の変更 (28)		
		情報システム特別実習 I B	1	後	2		8	2	2		兼 3	教員の退職、職位変更に伴う変更 (28)		
	情報システム特別実習 II A	情報システム特別実習 II A	2	前	1		6	4			兼 4	カリキュラム見直しによる担当教員の変更 (28)		
		情報システム特別実習 II B	2	後	2		8	2	2		兼 3	教員の退職、職位変更に伴う変更 (28)		
	応用化学分野	固体表面化学特論	1	前		2			1					
		分離工学特論	1	後		2			1					
分析化学特論		1	後		2			1						
セラミックス化学特論		1	前		2		1							
材料工学特論		1	後		2		1							
無機構造解析特論		1	後		2			1						
高分子材料化学特論		1	前		2		1							
機能材料化学特論		1	後		2		1							
有機材料化学特論		1	前		2			1						
生体模倣化学特論		1	前		2		1							
物理有機化学特論		1	前		2		1							
有機構造活性相関特論		1	後		2		1							
生物分析化学特論		1	前		2		1							
ミネラル化学特論		1	後		2		1							
キラル化学特論		1	後		2			1						
応用化学特別研究第一		2	前		2		5	6			兼 2	教員の採用に伴う変更 (29)		
応用化学特別研究第二	2	後		2		5	6			兼 2	教員の採用に伴う変更 (29)			
応用化学特別演習	2	前		2		5	6			兼 2	教員の採用に伴う変更 (29)			
福祉環境工学建築分野	建築環境工学特論第一	1	前		2		1							
	建築環境工学特論第二	1	後		2			1						
	建築環境工学特論第三	1	前		2		1							
	建築設備計画特論第一	1	前		2		1							
	建築設備計画特論第二	1	後		2			1						
	建築設備計画特論第三	1	前		2		1							
	建築・都市デザイン特論	1	前		2		1							
	福祉建築計画特論	1	後		2		1							
	都市計画特論	1	前		2			1						
	都市設計特論	1	後		2			1						
	建築計画設計特別演習第一	1	通		4		1	1						
	建築計画設計特別演習第二	2	通		4		1	1						
	建築構法特論	1	前		2						兼 1			
	建築構造設計特論	1	前		2		1							
建築構造特論第一	1	後		2		1								
建築構造特論第二	1	後		2		1								

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
分野基礎科目群	福祉環境工学建築分野	建築木質構造設計特論	1後	2			1					兼1 カリキュラム見直しによる担当教員の変更(29) 教員の退職に伴う担当教員変更(29) 教員の退職に伴う担当教員変更(29) 教員の退職に伴う変更(29) 教員の採用に伴う変更(28) 教員の退職に伴う変更(29) 教員の採用に伴う変更(28) 教員の退職に伴う変更(29) 教員の採用に伴う変更(28)
		材料設計特論	1前	2		1						
		建築材料工学特論	1前	2			1					
		建築耐久設計特論	1後	2			1					
		建築生産工学特論	1後	2		1						
		建築環境設計演習第一	1通	4		2	1					
		建築設計特論演習第一	1通	4		1	1					
		建築構造設計演習第一	1通	4		1						
		建築材料設計演習第一	1通	4			1					
		建築環境設計演習第二	2通	4		2	1					
	建築設計特論演習第二	2通	4		1	1						
	建築構造設計演習第二	2通	4		1							
	建築材料設計演習第二	2通	4			1						
	建築俯瞰特論	1前	2			5	3					
	建築実務特論	1後	2			5	3					
	建築設計インターンシップ	1前	4			5	3					
	福祉環境工学メカトロニクス分野	身体運動工学特論	1後	2		1						
		人間工学特論	1前	2		1						
		生体運動解析法特論	1後	2			1					
		運動機能工学特論	1前	2			1					
生体支援工学特論第一		1前	2			1						
生体支援工学特論第二		1後	2			1						
福祉ロボット動力学特論		1後	2		1							
生体ダイナミクス特論		2前	2		1							
電磁アクチュエータ特論		1前	2		1							
福祉メカトロニクス特論		1後	2			1						
人間情報工学特論	1後	2			1							
工学基礎科目群	関数解析学特論第一	1前	2		1	1					職位変更(28)	
	関数解析学特論第二	1後	2		1	1					職位変更(28)	
	応用幾何学特論第一	1前	2		1							
	応用幾何学特論第二	1後	2		1							
	応用代数学特論第一	1前	2		1							
	応用代数学特論第二	1後	2		1							
	応用解析学特論第一	1前	2		1						教育内容の充実のため科目を追加(29)	
	応用解析学特論第二	1後	2		1						教育内容の充実のため科目を追加(29)	
	解析学特論第一	1前	2			1					教育内容の充実のため科目を追加(29)	
	解析学特論第二	1後	2			1					教育内容の充実のため科目を追加(29)	
	液晶物理学特論	1・2後	2		1						隔年開講のため(29)	
	自己組織化構造解析特論	1・2後	2		1						設置時の誤り(29) 職位変更(28)	
	非線形力学系特論	1後	2			1						
	コロイド物理学特論	1前	2			1					教育内容の充実のため科目を追加(29)	
	システムLSI設計特別講義	1前	2							兼1		
	設計解析特論	1前	2			1						
応用力学特論演習	1後	2			1							
生物学特論第一	1前	2							兼1			
生物学特論第二	1後	2							兼1			
触媒科学特論	1前	2							兼1			
環境材料科学特論	1後	2							兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学外特別実習科目群	MOT特論I	1前		1							兼1	カリキュラム見直しに伴う配当年次変更(29) 担当教員見直しのため(29) 担当教員見直しのため(29) 担当教員見直しのため(29)
	MOT特論II	1前		1							兼1	
	MOT特論III	1前									兼1	
	MOT特論IV	1前		1		1						
	ベンチャービジネス論	1後		2		1						
	英語表現法特論I	1前		2			1				兼1	
	英語表現法特論II	1後		2			1					
	学外特別実習A	1前		1			1					
	学外特別実習B	1前		2			1					
	学外特別研究	1前		2			1					
その他	特別研究					35	26					教員の採用、退職、職位変更に伴う変更(29)
						36	23					教員の採用、退職、職位変更に伴う変更(28)
						35	25					

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	167	0	171	4	173	0	177	
				[]	[6]	[]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	情報数理特論第一	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
2	数理工学特論第一	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
3	数理工学特論第二	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
4	生体システム特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
5	自己組織化構造解析特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、全て隔年開講科目のため次年度以降の履修が可能である。
 学生には、ホームページ上の教務情報システムに掲載し、周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{171} = \boxed{2.92\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	151,443 m ²	0 m ²	0 m ²	151,443 m ²			
	運動場用地	91,269 m ²	0 m ²	0 m ²	91,269 m ²			
	小 計	242,712 m ²	0 m ²	0 m ²	242,712 m ²			
	そ の 他	180,272 m ²	0 m ²	0 m ²	180,272 m ²			
	合 計	422,984 m ²	0 m ²	0 m ²	422,984 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	114,886 m ² (114,886 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	114,886 m ² (114,886 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	64 室	173 室	363 室	20 室 (補助職員 0 人)	3 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	工学研究科 工学専攻 (博士課程前期)		70 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分を 含む
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	工学研究科 工学専攻 (博士前期課程)	777,208 [202,695] (777,208 [202,695])	11,484 [4,208] (11,484 [4,208])	4,235 [4,235] (4,235 [4,235])	3,244 (3,244)	668 (668)	0 (0)	
計	777,208 [202,695] (777,208 [202,695])	11,484 [4,208] (11,484 [4,208])	4,235 [4,235] (4,235 [4,235])	3,244 (3,244)	668 (668)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体
	7,631 m ²		940		605,278			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体
	5,056 m ²		弓道場, テニスコート, プール, 陸上競技場 等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	
		共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		－					

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成 29 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延) がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	135	—	540	学士（教育）	1.06	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
学校教育課程	4	—	—	—	学士（教育）	—	平成11年度	同上	平成28年度より学生募集停止
情報社会文化課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成元年度	同上	同上
人間福祉科学課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成9年度	同上	同上
経済学部						1.04			
経済学科	4	90		360	学士（経済学）		平成6年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度入学定員減（△40人）
経営システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員減（△50人）
地域システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員増（35人）
社会イノベーション学科	4	40		160	学士（経済学）		平成29年度	同上	
各学科共通			3年次 10	20					
医学部									
医学科	6	100	2年次 10	650	学士（医学）	1.00	昭和51年度	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地	
看護学科	4	60	3年次 6	252	学士（看護学）	1.01	平成6年度	同上	
理工学部									
創生工学科	4	235	3年次 7	954	学士（工学）	1.01	平成29年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
共創理工学科	4	150	3年次 3	606	学士（理工学）	1.05	平成29年度	同上	
工学部									
機械・エネルギーシステム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
知能情報システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
応用化学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成4年度	同上	同上
福祉環境工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	同上	同上
各学科共通			3年次 —	—					
福祉健康科学部									
福祉健康科学科	4	100	—	400	学士（福祉健康科学）	1.04	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
【大学院】									
教育学研究科									
（修士課程）									
学校教育専攻	2	21	—	42	修士（教育学）	0.92	平成4年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
教科教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成4年度	同上	平成28年度より学生募集停止
（専門職学位課程）									
教職開発専攻	2	10	—	20	教職修士（専門職）	0.95	平成28年度	同上	

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
経済学研究科 (博士前期課程)									
経済社会政策専攻	2	8	—	16	修士(経済学)	0.74	平成11年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
地域経営政策専攻	2	12	—	24	修士(経営学)	0.45	平成11年度	同上	
(博士後期課程)									
地域経営専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	1.11	平成19年度	同上	
医学系研究科 (修士課程)									
医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.66	平成15年度	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地	
看護学専攻	2	10	—	20	修士(看護学)	0.70	平成10年度	同上	
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	0.77	平成20年度	同上	
工学研究科 (博士前期課程)									
工学専攻	2	135	—	270	修士(工学)	1.10	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
機械・エネルギーシステム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
知能情報システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
応用化学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
建設工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
福祉環境工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成13年度	同上	同上
(博士後期課程)									
工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	0.87	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成28年度より学生募集停止
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
環境工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
福祉社会科学研究科 (修士課程)									
福祉社会科学専攻	2	12	—	24	修士(福祉社会学)	0.74	平成14年度	大分県大分市大字旦野原700番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	豊田 昌宏	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 セラミックス化学特論 材料工学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	教授	秋田 昌憲	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 通信工学特論 音響工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	教授	石川 雄一	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 生体模倣化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	教授	今戸 啓二	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 設計解析特論 応用力学特論演習 特別研究						
専	教授	氏家 誠司	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 高分子材料化学特論 機能材料化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 MOT特論IV ベンチャービジネス論 特別研究						
専	教授	大賀 恭	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 物理有機化学特論 有機構造活性相関特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	教授	大鶴 徹	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築環境工学特論第一 建築設備計画特論第一 建築環境設計演習第一 建築環境設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小川 幸吉	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 電磁アクチュエータ特論 特別研究						
専	教授	小田 和広	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 弾性力学特論 計算固体力学特論 特別研究						
専	教授	越智 義道	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 数理工学特論第一 数理工学特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究	兼	理事(副学長)	越智 義道	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 数理工学特論第一 数理工学特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究	役員就任に伴う負担軽減措置として、担当から削除 なお、当該科目は複数の教員で担当しており、支障はない(28) 役員就任に伴い、兼任教員として担当(28) 役員就任に伴う負担軽減措置として、担当から削除 なお、当該科目は複数の教員で担当しており、支障はない(28)
専	教授	甲斐 徳久	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 生物分析化学特論 ミネラル化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	教授	金澤 誠司	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電磁気学特論第一 電力工学特論第二 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 学外特別実習A 学外特別実習B 学外特別研究 特別研究	専	教授	金澤 誠司	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電磁気学特論第一 電力工学特論第二 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 学外特別実習A 学外特別実習B 学外特別研究 特別研究	担当教員見直しのため(29)
専	教授	川口 剛	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 計算機システム特論第三 システムプログラミング特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究	専	教授	高見 利也	平成29年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 計算機システム特論第三 システムプログラミング特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究	教員の退職に伴う後任補充(29)
専	教授	菊池 健児	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築構造設計特論 建築構造特論第一 建築構造特論第二 建築構造設計演習第一 建築構造設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古賀 正文	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 情報伝送工学特論第一 情報伝送工学特論第二 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	教授	後藤 真宏	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 材料力学特論第一 材料力学特論第二 特別研究						
専	教授	佐藤 嘉昭	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 材料設計特論 建築生産工学特論 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究	専	准教授	田中 圭	平成29年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義	教員の退職に伴う後任補充(29)
					専	准教授	大谷 俊浩	平成28年4月	材料設計特論 建築生産工学特論	教員の退職に伴う担当教員変更(29)
					専	准教授	田中 圭	平成29年4月	建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究	教員の退職に伴う後任補充(29)
専	教授	末谷 大道	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 非線形力学系特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	教授	鈴木 義弘	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築・都市デザイン特論 福祉建築計画特論 建築計画設計特別演習第一 建築計画設計特別演習第二 建築設計特論演習第一 建築設計特論演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究	専	教授	鈴木 義弘	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築・都市デザイン特論 福祉建築計画特論 建築計画設計特別演習第一 建築計画設計特別演習第二 建築設計特論演習第一 建築設計特論演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究	
									学外特別実習A 学外特別実習B 学外特別研究	担当教員見直しのため(29)
専	教授	田中 康彦	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 応用代数学特論第一 応用代数学特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習I A 情報システム特別実習I B 情報システム特別実習II A 情報システム特別実習II B 特別研究						
専	教授	田上 公俊	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 熱工学特論第一 伝熱学特論 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	寺井 伸浩	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 応用幾何学特論第一 応用幾何学特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究						
専	教授	戸高 孝	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電磁気学特論第二 電気機器工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	教授	中島 誠	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 知識工学特論第一 知識工学特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究						
専	教授	長屋 智之	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 液晶物理学特論 自己組織化構造解析特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	教授	鍋島 隆	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電子回路特論第一 電子回路特論第二 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究	兼任	講師	鍋島 隆	平成29年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電子回路特論第一 電子回路特論第二 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究	担当教員退職のため(29) (当該科目は他に担当教員がいるため、支障はない) 退職後、非常勤講師として担当(29) 担当教員退職のため(29) (当該科目は他に担当教員がいるため、支障はない)
専	教授	西野 浩明	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 情報処理特論第二 計算機システム特論第一 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究						
専	教授	濱川 洋充	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 流体工学特論 流体力学特論 特別研究						
専	教授	濱本 誠	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 電磁流体工学特論第一 電磁流体工学特論第二 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古家 賢一	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 情報システム特論第二 知能システム特論第一 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究						
専	教授	前田 寛	平成28年4月	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 身体運動工学特論 人間工学特論						
専	教授	益子 洋治	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電子物性特論第一 電子物性特論第二 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	教授	松尾 孝美	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 福祉ロボット動力学特論 生体ダイナミクス特論 特別研究						
専	教授	真鍋 正規	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築環境工学特論第三 建築設備計画特論第三 建築環境設計演習第一 建築環境設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究						
専	教授	山田 英巳	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 粘性流体工学特論 粘性流体工学特論演習 特別研究						
専	教授	劉 孝宏	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 機械力学特論第一 機械力学特論第二 特別研究						
専	准教授	池内 秀隆	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 福祉メカトロニクス特論 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	和泉(大久保) 志津恵	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義	兼任	講師	和泉(大久保) 志津恵	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義	担当教員退職のため(28) (当該科目は他に担当教員がいるため、支障はない)	
				知能情報システム工学特別講義 情報数理特論第一 生体システム特論 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二					知能情報システム工学特別講義 情報数理特論第一 生体システム特論 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二	退職後、非常勤講師として担当(28)	
				情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究					情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究	担当教員退職のため(28) (当該科目は他に担当教員がいるため、支障はない)	
専	准教授	井上 高教	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 分析化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究							
専	准教授	岩本 光生	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 熱エネルギー解析工学特論 熱流体エネルギー解析工学特論 特別研究							
専	准教授	上見 憲弘	平成28年4月	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 人間情報工学特論							
専	准教授	大竹 哲史	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 知能情報システム工学特別講義 情報処理特論第一 計算機システム特論第二 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 特別研究							
専	准教授	大谷 俊浩	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築材料工学特論 建築耐久設計特論 建築材料設計演習第一 建築材料設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究	専	准教授	大谷 俊浩	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築材料工学特論 建築耐久設計特論 建築材料設計演習第一 建築材料設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究		
				材料設計特論 建築生産工学特論					教員の退職に伴う担当教員変更(29)		
専	准教授	岡内 優明	平成28年4月	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 生体運動解析法特論 運動機能工学特論							
専	准教授	菊池 武士	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義 生体支援工学特論第一 生体支援工学特論第二 特別研究							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	工藤 孝人	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電磁波工学特論 応用電子工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究	専	教授	工藤 孝人	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電磁波工学特論 応用電子工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究	職位変更のため(28)
専	准教授	栗原 央流	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 流体機械特論 特別研究						
専	准教授	厨川 明	平成28年4月	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電気力学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二						
専	准教授	高坂 拓司	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 非線形システム特論第一 非線形システム特論第二 特別研究						
専	准教授	後藤 雄治	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 電磁気計測工学特論 特別研究						
専	准教授	小林 祐司	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 都市計画特論 都市設計特論 建築計画設計特別演習第一 建築計画設計特別演習第二 建築設計特論演習第一 建築設計特論演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究						
専	准教授	佐々木 朱美	平成28年4月	英語表現法特論 I						
専	准教授	佐藤 輝被	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電子機器特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	准教授	柴田 克成	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 制御システム特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	准教授	園井 千音	平成28年4月	英語表現法特論 II						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	植田 雄二	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 電力工学特論第一 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	准教授	津村 朋樹	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 無機構造解析特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	准教授	富来 礼次	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 福祉環境建築学特別講義 建築環境工学特論第二 建築設備計画特論第二 建築環境設計演習第一 建築環境設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 特別研究						
専	准教授	中江 貴志	平成28年4月	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 振動工学特論						
専	准教授	永岡 勝俊	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 固体表面化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	准教授	橋本 淳	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 熱工学特論第二 特別研究						
専	准教授	原田 拓典	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 キラル化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	准教授	平田 誠	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 分離工学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	福田 亮治	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義	専	教授	福田 亮治	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義	職位変更のため(28)
				福祉環境メカトロニクス特別講義					福祉環境メカトロニクス特別講義	カリキュラム見直しのため、担当教員から外した。他に担当教員がいることから支障はない。(28)
				関数解析学特論第一 関数解析学特論第二 特別研究					関数解析学特論第一 関数解析学特論第二 特別研究	職位変更のため(28)
									システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 情報工学演習第一 情報工学演習第二 知能情報システム工学特別講義	カリキュラムの充実のため担当教員を追加(29)
専	准教授	福永 道彦	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 機械エネルギー工学特別講義 機械設計学特論 特別研究						
専	准教授	緑川 洋一	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 電気電子工学特別講義 信号処理工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 特別研究						
専	准教授	守山 雅也	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 応用化学特別講義 有機材料化学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習 特別研究						
専	講師	行天 啓二	平成28年4月	知能情報システム工学特別講義 知能システム特論第二 知能システム特論第三 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB						
専	講師	原 恭彦	平成28年4月	知能情報システム工学特別講義 情報数理特論第二 情報数理特論第三 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専任	教授	吉川 周二	平成29年4月	システム工学演習第一 システム工学演習第二 プロジェクトゼミ プロジェクト研究 応用解析学特論第一 応用解析学特論第二 科学技術イノベーション特別講義 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 情報工学演習第一 情報工学演習第二 先端工学特別講義 知能情報システム工学特別講義 特別研究	カリキュラムの充実のため教員を配置(29)
					専任	准教授	岩下 拓哉	平成29年4月	コロイド物理学特論 プロジェクトゼミ プロジェクト研究 科学技術イノベーション特別講義 先端工学特別講義 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 電気電子工学特別講義 特別研究	カリキュラムの充実のため教員を配置(29)
					専任	准教授	渡邊 紘	平成29年4月	システム工学演習第一 システム工学演習第二 プロジェクトゼミ プロジェクト研究 科学技術イノベーション特別講義 解析学特論第一 解析学特論第二 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 情報工学演習第一 情報工学演習第二 先端工学特別講義 知能情報システム工学特別講義 特別研究	カリキュラムの充実のため教員を配置(29)
					専任	准教授	信岡(北岡)かおる	平成29年4月	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義 プロジェクトゼミ プロジェクト研究 応用化学特別講義 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習	カリキュラムの充実のため教員を配置(29)
兼任	教授	富畑 賢司	平成28年4月	MOT特論III						
兼任	教授	一二三 恵美	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 生物学特論第一 生物学特論第二 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習						
兼任	教授	吉田 和幸	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 情報システム特論第一 システムプログラミング特論第一 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB	兼任	教授	吉田 和幸	平成28年4月	情報システム特論第一 システムプログラミング特論第一 プロジェクトゼミ プロジェクト研究 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二	カリキュラム充実のため担当教員の追加(28)
兼任	准教授	井上 昌美	平成28年4月	MOT特論I MOT特論II						
兼任	准教授	西口 宏泰	平成28年4月	プロジェクトゼミ プロジェクト研究 触媒科学特論 環境材料科学特論 応用化学特別研究第一 応用化学特別研究第二 応用化学特別演習						
兼任	講師	井上 正文	平成28年4月	建築構法特論	兼任	講師	井上 正文	平成28年4月	建築構法特論	
				建築木質構造設計特論	専任	准教授	田中 圭	平成29年4月	建築木質構造設計特論	専任教員補充に伴い、担当者変更(29)
兼任	講師	大久保 利一	平成28年4月	電気エネルギー工学特論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	岡本 哲明	平成28年4月	英語表現法特論 I						
兼任	講師	益子 耕一郎	平成28年4月	システム L S I 設計特別講義						
					兼任 准教授	吉崎 弘一	平成28年4月	情報システム特論第三		カリキュラムの充実のため科目を追加(28)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
20 名	14 名	0 名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
36	31	2	0	69	36	32	2	0	70	36	32	2	0	70
36	31	2	0	69						[0]	[1]	[0]	[0]	[1]
		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
		60	0	9		62	0	8		62	0	8		
		60	0	9						[2]	[0]	[Δ 1]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	越智 義道	必修	プロジェクトゼミ	①	役員就任のため (28)
			必修	プロジェクト研究	①	
			必修	先端工学特別講義	①	
			必修	化学技術イノベーション特別講義	①	
			選択	知能情報システム工学特別講義	①	
			選択	数理工学特論第一	②	
			選択	数理工学特論第二	②	
			選択	情報工学演習第一	①	
			選択	情報工学演習第二	①	
			選択	システム工学演習第一	①	
			選択	システム工学演習第二	①	
			選択	情報システム特別実習 1A	①	
			選択	情報システム特別実習 1B	①	
			選択	情報システム特別実習 2A	①	
2	准教授	和泉 (大久保) 志津恵	必修	プロジェクトゼミ	①	他大学へ転出のため (28)
			必修	プロジェクト研究	①	
			必修	先端工学特別講義	①	
			必修	化学技術イノベーション特別講義	①	
			選択	知能情報システム工学特別講義	①	
			選択	情報推理工学特論第一	②	
			選択	生体システム特論	②	
			選択	情報工学演習第一	①	
			選択	情報工学演習第二	①	
			選択	システム工学演習第一	①	
			選択	システム工学演習第二	①	
			選択	情報システム特別実習 1A	①	
			選択	情報システム特別実習 1B	①	
			選択	情報システム特別実習 2A	①	
3	教授	川口 剛	必修	プロジェクトゼミ	①	定年退職のため (29)
			必修	プロジェクト研究	①	
			必修	先端工学特別講義	①	
			必修	化学技術イノベーション特別講義	①	
			選択	知能情報システム工学特別講義	①	
			選択	計算機システム特論第三	①	
			選択	システムプログラミング特論第三	①	
			選択	情報工学演習第一	①	
			選択	情報工学演習第二	①	
			選択	システム工学演習第一	①	
			選択	システム工学演習第二	①	
			選択	情報システム特別実習 1A	①	
			選択	情報システム特別実習 1B	①	
			選択	情報システム特別実習 2A	①	
選択	情報システム特別実習 2B	①				
選択	特別研究	①				

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
4	教授	佐藤 喜昭	必修	プロジェクトゼミ	①	定年退職のため (29)	
			必修	プロジェクト研究	①		
			必修	先端工学特別講義	①		
			必修	化学技術イノベーション特別講義	①		
			選択	福祉環境建築学特別講義	①		
			選択	材料設計特論	①		
			選択	建築生産工学特論	①		
			選択	建築俯瞰特論	①		
			選択	建築実務特論	①		
			選択	建築設計インターシップ	①		
5	教授	鍋島 隆	必修	プロジェクトゼミ	①	定年退職のため (29)	
			必修	プロジェクト研究	①		
			必修	先端工学特別講義	①		
			必修	化学技術イノベーション特別講義	①		
			選択	電気電子工学特別講義	①		
			選択	電子回路特論第一	②		
			選択	電子回路特論第二	②		
			選択	電気電子工学演習第一	①		
			選択	電気電子工学演習第二	①		
			選択	特別研究	①		
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
5	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	27 科目	選択	21 科目	選択	6 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	31 科目	計	25 科目	計	6 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
5	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
	選択	27 科目	選択	21 科目	選択	6 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	31 科目	計	25 科目	計	6 科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員が担当していた科目は、他の教員が担当することとしており、履修には支障はない。
学生には、ホームページ上の教務情報システムに掲載し、周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 30単位 必修科目8単位、選択科目22単位	①変更なし
② 施設・設備	②特記事項なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 教務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 22回 9名</p> <p>c 委員会の審議事項等 教育課程の編成に関すること。教務事項に関し必要な事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法の改善についての講習会 ・ 教育用電子計算機システムの活用についての研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演及びディスカッション <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔授業システム講習会 27名（平成29年3月30日） ・ 第1回インタラクティブボード講習会 2名（平成28年6月21日） ・ 第2回インタラクティブボード講習会 2名（平成28年8月30日） ・ 学科FD講演会 16名（平成28年4月13日） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 平成28年度を振り返り、平成29年度の授業内容の充実を図る。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 未実施（本年度終了時点で授業科目アンケートを実施する予定。）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教務委員会にてアンケート結果を報告し、学生には掲示にて周知する予定</p>
--

（注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員135名に対し、平成28年度は161名が、平成29年度は139名が入学し、質の高い特色のある教育と研究を通じた化学技術の創造と地域への貢献、豊かな創造性、社会性、及び人間性を備えた人材の育成を行っており、また、平成28年度入学学生の退学率は0名と計画通り進んでいると考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年6月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成29年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度までに受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年6月22日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 大分大学

(2) 大学名 大分大学

(3) 大学の位置

〒870-1192
大分県大分市大字旦野原700番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(キタノ セイゴウ) 北野正剛 (平成23年10月)		
研究科長	(トヨダ マサヒロ) 豊田昌宏 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 工学専攻(博士後期課程) 博士(工学)	工学関係	3年	8人	24人	基礎となる学部等 理工学部, 工学研究科工学専攻(博士前期課程)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8 () []	人 () []	8 () []	人 () []	8 () []	人 () []			0.87倍	
志願者数	8 (3) [4]	2 (2) []	4 (2) []	人 () []	人 () []	人 () []				
受験者数	8 (3) [4]	2 (2) []	4 (2) []	人 () []	人 () []	人 () []				
合格者数	8 (3) [4]	2 (2) []	4 (2) []	人 () []	人 () []	人 () []				
B 入学者数	8 (3) [4]	2 (2) []	4 (2) []	人 () []	人 () []	人 () []				
入学定員超過率 B/A	1.25		0.5							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	8 [4] (-)	2 [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)			
2年次	/		8 [4] (-)	2 [-] (-)			
3年次			/				
計	10 [4] (-)				14 [4] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	10 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	4 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	14 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学研究科 工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
分野 融合型 イノベーション シオン系科目	プロジェクト演習	2 通	2			34	19					兼 3 教員の退職, 採用に伴う変更 (29)	
						35	18					兼 4 教員の退職, 職位変更に伴う変更 (28)	
	俯瞰力養成セミナー	2 通	2				34	17					兼 2
							34	19					兼 3 教員の退職, 採用に伴う変更 (29)
							35	18					兼 4 教員の退職, 職位変更に伴う変更 (28)
							34	17					兼 2
	キャリアパス設計	1 通	2				34	19					兼 3 教員の退職, 採用に伴う変更 (29)
							35	18					兼 4 教員の退職, 職位変更に伴う変更 (28)
	国際実践演習 【スーパー連携大学院講義科目】	1 通	2				34	17					兼 2
							34	19					兼 3 教員の退職, 採用に伴う変更 (29)
ベンチャービジネス論	1 後		2			1							
						1 前	1						
基盤 分野 特論	応用 化学 分野											兼 1	
						生体機能分子化学特論	1 前	2	1				
						高分子材料工学特論	1 前	2	1				
						炭素材料工学特論	1 後	2	1				
						抗体工学特論	1 前	2					
						理論有機化学特論	1 前	2	1				
						環境分析化学特論	1 前	2	1				
						機能性材料化学特論	1 前	2		1			
						有機分子機能解析特論	1 前	2		1			
						生物生産工学特論	1 後	2		1			
						セラミックス製造特論	1 前	2		1			
						有機材料工学特論	1 前	2		1			
						分子分光化学特論	1 前	2		1			
						環境材料化学特論	1 後	2					
						生体有機機能材料特論	1 前	2		1			
						機 械 工 学 分 野							
応用材料強度特論	1 前	2	1										
応用振動学特論	1 前	2	1										
応用流体力学特論	1 後	2	1										
反応性ガス流体力学特論	1 前	2	1										
乱流現象工学特論	1 前	2	1										
バイオメカニクス特論	1 後	2	1										
数値破壊力学特論	1 後	2	1										
数理輸送現象工学特論	1 前	2		1									
人間動作解析特論	1 前	2		1									
人間機械学特論	1 前	2		1									
燃焼解析学特論	1 後	2		1									
電 気 電 子 工 学 分 野												兼 1	
						聴覚情報処理特論	1 前	2	1				
						半導体デバイス解析技術特論	1 前	2	1				
						広帯域光ネットワーク特論	1 前	2	1				
						非線形動力学特論	1 前	2	1				
						放電プラズマ計測特論	1 後	2	1				
制御プロセスモデリング特論	1 後	2	1										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤分野特論	電磁力応用特論	1 前		2		1					教員の退職に伴う科目削除 (29) カリキュラムの充実のため科目を追加 (28) 職位変更 (28)
	電気エネルギー変換特論	1 前		2		1					
	静電気工学特論	1 後		2		1					
	磁性材料特論	1 後		2		1					
	複雑系科学特論	1 後		2		1					
	電磁計測工学特論	1 前		2			1				
	学習制御システム特論	1 後		2			1				
						1					
	応用電磁波特論	1 後		2			1				
	非線形電磁気工学特論	1 前		2			1				
数値シミュレーション特論	1 後		2			1					
建築学分野	建築音響工学特論	1 前		2		1				教員の退職に伴う科目削除 (29)	
	建築環境設計特論	1 後		2		1					
	コンクリート工学特論	1 前		2		1					
	特殊構造特論	1 後		2		1					
	福祉環境設計特論	1 前		2		1					
	空間情報工学特論	1 前		2			1				
	建築環境システム特論	1 後		2			1				
	建築材料特論	1 後		2			1				
	木構造設計特論	1 後		2			1				
											カリキュラムの充実のため科目を追加 (29)
情報工学分野	生体データ解析特論	1 後		2		1				兼 1	教員の職位変更に伴う変更 (28)
	代数的情報特論	1 後		2		1					教員の退職に伴う科目削除 (29)
	可視化情報学特論	1 前		2		1					
	並列計算機構特論	1 後		2		1					
	計算機数論特論	1 後		2		1					
	知的情報検索特論	1 後		2		1					
	音空間モデル構成特論	1 後		2		1					
	非線形集団運動特論	1 前		2		1					カリキュラムの充実のため科目を追加 (29)
	数値微分方程式特論	1 後		2		1					カリキュラムの充実のため科目を追加 (29)
	並行プログラミング特論	1 後		2						兼 1	カリキュラムの見直しに伴う科目削除 (29)
	デジタルシステム高信頼化特論	1 前		2			1				
	生体データ実験計画特論	1 後		2			1			兼 1	教員の退職に伴う変更 (28)
							2			兼 1	教員の退職に伴う変更 (29)
情報システム特別講義	1 前		2			3					
						1			兼 1	教員の職位変更に伴う変更 (28)	
知能システム特別講義	1 後		2			2					
実習科目						23					教員の退職, 採用に伴う変更 (29) 教員の職位変更に伴う変更 (28)
	物質生産工学実習 I	1 通		2		22	14			兼 2	
						23					教員の退職, 採用に伴う変更 (29) 教員の職位変更に伴う変更 (28)
	物質生産工学実習 II	2 通		2		22	14			兼 2	
						23					教員の退職, 採用に伴う変更 (29) 教員の職位変更に伴う変更 (28)
	物質生産工学実習 III	2 通		2		22	14			兼 2	
						5			兼 1	教員の退職, 採用に伴う変更 (29)	
環境工学実習 I	1 通		2		11	4			兼 2	教員の退職, 職位変更に伴う変更 (28)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実習科目	環境工学実習Ⅱ	2通		2		11	5				兼1 教員の退職, 採用に伴う変更 (29)
						12	4				兼2 教員の退職, 職位変更に伴う変更 (28)
	環境工学実習Ⅲ	2通		2		11	5				兼1 教員の退職, 採用に伴う変更 (29)
						12	4				兼2 教員の退職, 職位変更に伴う変更 (28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	66	0	70	4	68	0	72	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	電気エネルギー変換特論	2	1前	専門	選択	教員の退職のため。新たな科目を追加しており、履修への支障なし。
2	コンクリート工学特論	2	1前	専門	選択	教員の退職のため。新たな科目を追加しており、履修への支障なし。
3	並列計算機構特論	2	1後	専門	選択	教員の退職のため。新たな科目を追加しており、履修への支障なし。
4	生体データ実験計画特論	2	1後	専門	選択	カリキュラムの見直しのため。新たな科目を追加しており、履修への支障なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

選択科目を4科目廃止したが、新たに4科目を追加して学生の授業機会を確保しており、履修には支障はない。
また、学生には、全てホームページ上の教務情報システムに掲載し、周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{70} = \boxed{5.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	151,443 m ²	0 m ²	0 m ²	151,443 m ²				
	運動場用地	91,269 m ²	0 m ²	0 m ²	91,269 m ²				
	小 計	242,712 m ²	0 m ²	0 m ²	242,712 m ²				
	そ の 他	180,272 m ²	0 m ²	0 m ²	180,272 m ²				
	合 計	422,984 m ²	0 m ²	0 m ²	422,984 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	114,886 m ² (114,886 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	114,886 m ² (114,886 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	64 室	173 室	363 室	20 室 (補助職員 0 人)	3 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	工学研究科 工学専攻 (博士課程後期)		53 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む	
	工学研究科 工学専攻 (博士後期課程)	777,208 [202,695] (777,208 [202,695])	11,484 [4,208] (11,484 [4,208])	4,235 [4,235] (4,235 [4,235])	3,244 (3,244)	668 (668)	0 (0)		
	計	777,208 [202,695] (777,208 [202,695])	11,484 [4,208] (11,484 [4,208])	4,235 [4,235] (4,235 [4,235])	3,244 (3,244)	668 (668)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	7,631 m ²		940		603,833		大学全体		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	5,056 m ²		弓道場, テニスコート, プール, 陸上競技場 等				大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	－千円	－千円	図書購入費	－千円	－千円	－千円	
		共 同 研 究 費 等	－千円	－千円	設備購入費	－千円	－千円	－千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		－千円	－千円	－千円	－千円	－千円	－千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		－							

- (注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成 29 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延) がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	135	—	540	学士（教育）	1.06	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
学校教育課程	4	—	—	—	学士（教育）	—	平成11年度	同上	平成28年度より学生募集停止
情報社会文化課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成元年度	同上	同上
人間福祉科学課程	4	—	—	—	学士（教養）	—	平成9年度	同上	同上
経済学部						1.04			
経済学科	4	90		360	学士（経済学）		平成6年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度入学定員減（△40人）
経営システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員減（△50人）
地域システム学科	4	80		320	学士（経済学）		平成6年度	同上	平成29年度入学定員増（35人）
社会イノベーション学科	4	40		160	学士（経済学）		平成29年度	同上	
各学科共通			3年次 10	20					
医学部									
医学科	6	100	2年次 10	650	学士（医学）	1.00	昭和51年度	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地	
看護学科	4	60	3年次 6	252	学士（看護学）	1.01	平成6年度	同上	
理工学部									
創生工学科	4	235	3年次 7	954	学士（工学）	1.01	平成29年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
共創理工学科	4	150	3年次 3	606	学士（理工学）	1.05	平成29年度	同上	
工学部									
機械・エネルギーシステム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成29年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
知能情報システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成3年度	同上	同上
応用化学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成4年度	同上	同上
福祉環境工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度	同上	同上
各学科共通			3年次 —	—					
福祉健康科学部									
福祉健康科学科	4	100	—	400	学士（福祉健康科学）	1.04	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
【大学院】									
教育学研究科									
（修士課程）									
学校教育専攻	2	21	—	42	修士（教育学）	0.92	平成4年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
教科教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成4年度	同上	平成28年度より学生募集停止
（専門職学位課程）									
教職開発専攻	2	10	—	20	教職修士（専門職）	0.95	平成28年度	同上	

大学の名称	大分大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
経済学研究科 (博士前期課程)									
経済社会政策専攻	2	8	—	16	修士(経済学)	0.74	平成11年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
地域経営政策専攻	2	12	—	24	修士(経営学)	0.45	平成11年度	同上	
(博士後期課程)									
地域経営専攻	3	3	—	9	博士(経済学)	1.11	平成19年度	同上	
医学系研究科 (修士課程)									
医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.66	平成15年度	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地	
看護学専攻	2	10	—	20	修士(看護学)	0.70	平成10年度	同上	
(博士課程)									
医学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	0.77	平成20年度	同上	
工学研究科 (博士前期課程)									
工学専攻	2	135	—	270	修士(工学)	1.10	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	
機械・エネルギーシステム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成17年度	同上	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
知能情報システム工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
応用化学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
建設工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
福祉環境工学専攻	2	—	—	—	修士(工学)	—	平成13年度	同上	同上
(博士後期課程)									
工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	0.87	平成28年度	大分県大分市大字旦野原700番地	平成28年度より学生募集停止
物質生産工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
環境工学専攻	3	—	—	—	博士(工学)	—	平成7年度	同上	同上
福祉社会科学研究科 (修士課程)									
福祉社会科学専攻	2	12	—	24	修士(福祉社会学)	0.74	平成14年度	大分県大分市大字旦野原700番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 工学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	豊田 昌宏	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 炭素材料工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	秋田 昌憲	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 聴覚情報処理特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	石川 雄一	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 生体機能分子化学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	今戸 啓二	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 バイオメカニクス特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	氏家 誠司	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 ベンチャービジネス論 地域経営特論(現役社長の講話Ⅲ) 高分子材料工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	大賀 恭	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 理論有機化学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	大鶴 徹	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 建築音響工学特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	小川 幸吉	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 電磁力応用特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	小田 和広	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 数値破壊力学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	越智 義道	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 生体データ解析特論 情報システム特別講義 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	兼任	理事 (副学長)	越智 義道	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 生体データ解析特論 情報システム特別講義 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	役員就任に伴い兼任教員へ変更 (28)
専	教授	甲斐 徳久	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 環境分析化学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	金澤 誠司	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 静電気工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	川口 剛	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 情報システム特別講義 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ 並列計算機構特論	専	教授	川口 剛	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	担当教員の退職のため(29) (当該科目は複数の教員で担当しているため支障はない)
					兼任	教授	吉田 和幸	平成29年4月	情報システム特別講義	担当教員の退職のため教員を追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	菊池 健児	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 特殊構造特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	古賀 正文	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 広帯域光ネットワーク特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	後藤 真宏	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 応用材料強度特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	佐藤 嘉昭	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	専	教授	佐藤 嘉昭	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	担当教員の退職のため(29) (当該科目は複数の教員で担当しているため支障はない)
				コンクリート工学特論					コンクリート工学特論	担当教員の退職のため(29) (教育内容の見直しのため授業科目の廃止)
専	教授	鈴木 義弘	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 福祉環境設計特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	田中 康彦	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 代数学的情報特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	田上 公俊	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 反応性ガス流体力学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	寺井 伸浩	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 計算機数論特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	戸高 孝	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 磁性材料特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	中島 誠	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 知的情報検索特論 情報システム特別講義 知能システム特別講義 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	長屋 智之	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 非線形力学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	鍋島 隆	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ	専	教授	鍋島 隆	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ	担当教員の退職のため(29) (当該科目は複数の教員で担当しているため支障はない)
				電気エネルギー変換特論					電気エネルギー変換特論	担当教員の退職のため(29) (教育内容の見直しのため授業科目の廃止)
専	教授	西野 浩明	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 可視化情報学特論 情報システム特別講義 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	濱川 洋充	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 応用流体力学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	濱本 誠	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 放電プラズマ計測特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	古家 賢一	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 音空間モデル構成特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	益子 洋治	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 半導体デバイス解析技術特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	松尾 孝美	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 制御プロセスモデリング特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	真鍋 正規	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 建築環境設計特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	教授	山田 英巳	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 乱流現象工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	教授	劉 孝宏	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 応用振動学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	教授	末谷 大道	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 複雑系科学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ	カリキュラムの充実のため担当教員を配置(28)
					専	教授	高見 利也	平成29年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 非線形集団運動特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	カリキュラムの充実のため担当教員を配置(29)
					専	教授	吉川 周二	平成29年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 数値微分方程式特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	カリキュラムの充実のため担当教員を配置(29)
専	准教授	池内 秀隆	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 人間動作解析特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	工藤 孝人	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 応用電磁波特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ	専	教授	工藤 孝人	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 応用電磁波特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ	職位変更のため(29)
専	准教授	和泉(大久保) 志津恵	平成28年4月	生体データ実験計画特論	兼任	講師	和泉(大久保) 志津恵	平成28年4月	生体データ実験計画特論	担当教員の退職のため(28) カリキュラムの見直しに伴う科目削除(29)
専	准教授	井上 高教	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 有機分子機能解析特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	岩本 光生	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 数理輸送現象工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	大竹 哲史	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 デジタルシステム高信頼化特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	准教授	大谷 俊浩	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 建築材料特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						
専	准教授	菊池 武士	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 人間機械学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	高坂 拓司	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 数理シミュレーション特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	後藤 雄治	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 非線形電磁気工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	小林 祐司	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 空間情報工学特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	柴田 克成	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 学習制御システム特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	樋田 雄二	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 電磁計測工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	津村 朋樹	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 セラミックス製造特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	富来 礼次	平成28年4月	建築環境システム特論	専	准教授	富来 礼次	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 建築環境システム特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	カリキュラムの充実のため担当教員を配置(28)
専	准教授	永岡 勝俊	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 機能性材料化学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	原田 拓典	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 分子分光光学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
専	准教授	平田 誠	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 生物生産工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	守山 雅也	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 有機材料工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
					専	准教授	田中 圭	平成29年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 木構造設計特論 環境工学実習Ⅰ 環境工学実習Ⅱ 環境工学実習Ⅲ	カリキュラムの充実のため担当教員を配置(29)
					専	准教授	信岡(北岡)かおる	平成29年4月	生体有機機能材料特論	カリキュラムの充実のため科目を追加(29)
					専	准教授	橋本 淳	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 燃焼解析学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ	カリキュラムの充実のため担当教員を配置(28)
兼任	教授	一二三 恵美	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 抗体工学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						
兼任	教授	吉田 和幸	平成28年4月	並行プログラミング特論	兼任	教授	吉田 和幸	平成28年4月	並行プログラミング特論	
									情報システム特別講義	担当教員退職のため、教員を追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	西口 宏泰	平成28年4月	プロジェクト演習 俯瞰力養成セミナー キャリアパス設計 国際実践演習 環境材料化学特論 物質生産工学実習Ⅰ 物質生産工学実習Ⅱ 物質生産工学実習Ⅲ						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

- (注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
34	19	0	0	53	34	20	0	0	54	30	24	0	0	54
34	19	0	0	53						[△4]	[5]	[0]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
51	0	2			53	0	1			52	0	2		
51	0	2								[1]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	越智 義道	必修	プロジェクト演習	①	役員就任のため (28)
			必修	俯瞰力養成セミナー	①	
			必修	キャリアパス設計	①	
			必修	国際実践演習	①	
			選択	生体データ解析特論	②	
			選択	情報システム特別講義	①	
			選択	環境工学実習Ⅰ	①	
			選択	環境工学実習Ⅱ	①	
2	准教授	和泉（大久保）志津恵	選択	生体データ実験計画特論	③	他大学へ転出のため (28)
3	教授	川口 剛	必修	プロジェクト演習	①	定年退職のため (29)
			必修	俯瞰力養成セミナー	①	
			必修	キャリアパス設計	①	
			必修	国際実践演習	①	
			選択	並列計算機特論	③	
			選択	環境工学実習Ⅰ	①	
			選択	環境工学実習Ⅱ	①	
4	教授	佐藤 喜昭	必修	プロジェクト演習	①	定年退職のため (29)
			必修	俯瞰力養成セミナー	①	
			必修	キャリアパス設計	①	
			必修	国際実践演習	①	
			選択	コンクリート工学特論	③	
			選択	環境工学実習Ⅰ	①	
			選択	環境工学実習Ⅱ	①	
選択	環境工学実習Ⅲ	①				

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
5	教授	鍋島 隆	必修	プロジェクト演習	①	定年退職のため (29)	
			必修	俯瞰力養成セミナー	①		
			必修	キャリアパス設計	①		
			必修	国際実践演習	①		
			選択	電気エネルギー変換特論	③		
			選択	環境工学実習Ⅰ	①		
			選択	環境工学実習Ⅱ	①		
			選択	環境工学実習Ⅲ	①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
5	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	4 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	8 科目	計	1 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
5	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	4 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	1 科目	計	1 科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>辞任等した教員が5名いたが、新たに大学院担当教員の審査を行い、研究指導及び新たな授業科目を開設することで対応しており、学生の履修には支障はない。 また、学生には、全てホームページ上の教務情報システムに掲載し、周知している。</p>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 12単位 必修科目8単位、選択科目4単位	①変更なし
② 施設・設備	②特記事項なし

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 博士後期課程研究指導委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 14回</p> <p>c 委員会の審議事項等 博士後期課程に係る学生の学務、研究支援及び学生生活事項等について、企画審議し連絡調整を行い、関係事務の円滑な実施に資することを目的とする。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法の改善についての講習会 ・ 教育用電子計算機システムの活用についての研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演及びディスカッション <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔授業システム講習会 27名（平成29年3月30日） ・ 第1回インタラクティブボード講習会 2名（平成28年6月21日） ・ 第2回インタラクティブボード講習会 2名（平成28年8月30日） ・ 学科FD講演会 16名（平成28年4月13日） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 平成28年度を振り返り、平成29年度の授業内容の充実を図る。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 未実施（本年度終了時点で授業科目アンケートを実施する予定。）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 博士後期課程研究指導委員会にてアンケート結果を報告し、学生には掲示にて周知する予定</p>
--

- （注）・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員10名に対し、平成28年度は10名が、平成29年度は4名が入学し、質の高い特色のある教育と研究を通じた化学技術の創造と地域への貢献、豊かな創造性、社会性、及び人間性を備えた人材の育成を行っており、また、平成28年度入学学生の退学率は0名と計画通り進んでいると考えている。

ただ、平成29年度定員を満たしていないことから、定員を充足させる方策を検討することが必要だと考えている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年7月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成29年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度までに受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年6月22日)